

幸手市立幸手中学校 学力保障グランドデザイン

幸手市の到達指針

【全国学調】

- 平均正答率
- 【埼玉県学調】
- 学習方略・非認知能力
- 学力の伸びた児童生徒の割合

本校の学力の現状と考察

現状	考察
<p>①全国学調</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語は項目によってはあと少しで全国に到達する数値である。数学はどの項目においても数値の開きが大きい。 	<p>特に数学における学力・伸びが問題である。二極化が著しいことから、中位層以下がついてこられない授業が展開されていることが考えられる。数学の基本的な学び方を定着させる必要があると考えられる。</p>
<p>②埼玉県学調</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習方略・非認知能力 2年生はほぼ県平均越えであり、全学年R5より値は上昇している。 ・学力の伸びはどの学年も上位層、低位層は確実に上昇している。しかしながら中位層の底上げに課題が見られる。 	<p>道徳教育の推進により、多様性を認め、規律を大切にす土台が構築されているため、規律ある態度において、他者との関わりや集団との関わりが県を上回っていると考えられる。</p>
<p>③幸手市統一学力調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記述問題に課題が見られ、その項目については全国とのポイント差が大きくなっている。 	<p>教科により大きな隔たりが見られる。特に数学において、思考力や記述においてのポイントが低い。国語も同様な傾向は見られる。日頃の積み重ねとなる授業改善が必要であるとされる。</p>

自ら課題を決め、目標に向かって進んで行動する生徒を育みます。

学校全体での取組



❖ 日常の積み重ねから態度の育成

「チャイム着席」「あいさつ」「授業への主体性」について、授業者が評価し、前向きに学ぶ姿勢を育みます。

❖ うるおいのある学び舎の創造

『幸手中生の一日』から規則正しく生活することの大切さや教科の学び方を生徒・保護者に周知し、教職員一丸となってメリハリのきいたうるおいのある学び舎を創造します。

❖ 生徒との継続的なコミュニケーション

日々の生活記録ノートや定期的なアンケートから生徒の実態把握に努め、居場所のある学び舎を創造します。

❖ 生徒指導・教育相談体制の充実

よりよく生きようとする生徒の自己教育力を高めるとともに、全教職員で生徒の健全な成長を温かく支援します。

落ち着いた学級づくり



❖ 基礎学力テストの実施と「たちばな賞」授与

各学年ごとに基礎学力テストを計画的に実施し、成績優秀者には賞状を出すことで自信につなげています。自分たちは「やればできる」を実感させる場を設けます。

❖ 幸手中キャリアアップガイドラインの活用

三年間で自分の成長が実感できるように、自分探しや自分磨きを支援し、なりたい自分を模索しながら夢や目標を追い求めることで生き方教育の充実を図ります。

❖ リーディングDXスクール事業の飛躍

今までの成果を土台に、より効果的に自学自習を目指した個別最適な学びと協働的な学びへの飛躍を図ります。さらにDC教育を全校で意図的に進めることで、全教職員で未来で活躍する生徒の育成に取組みます。

学びを深める授業づくり



❖ 幸手スタンダード授業5の徹底

導入から終末までを見通し、幸手スタンダード授業5 with GIGAに沿った授業展開をベースに、個別最適化された学び方の定着を図ります。

❖ 各教科等の「見方・考え方」の重視

「何を学ぶか」だけでなく「何のために学ぶか」といった学ぶ目的を生徒に考えさせ、学習のゴールまでを見通した魅力的な授業を展開します。

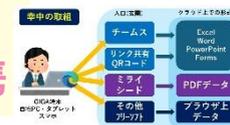
❖ 自分を見つめ、自己認知を深化

非認知能力を高め、「何を何のために学ぶのか」「協働的な学び」「自己の学びの展望と調整力の育成」を目指す、振り返りの時間を授業ごとに確実に設定します。

❖ 学び合って教職員の授業力向上

互いに授業を公開し、教科を越え生徒へ身につけたい資質を確認し合い、教職員の指導力向上を図ります。

学校間連携・家庭連携



❖ 家庭学習の習慣化

「幸手・学びのススメ10か条」を活用し、継続的な家庭学習の習慣化に努めます。「習慣は第2の天性です。」

❖ 三年間を通したキャリア学習・進路学習

道徳科や学級活動で継続的に生き方についての学習を行います。また、進路学習会や上級学校説明会を実施します。マナー教室で大人への橋渡しも行います。

❖ 小中連携で人間力育成、進路学習は中高連携

道徳教育・リーディングDXスクール事業について、幸手中学校区で小中連携を図ります。さらに保護者対象の私立高校バスツアーや、各近隣高校からの高校説明会を開催する他、高校からのアドバイスをいただきます。